

施政方針

今年度も「市民が主役」、「対話の市政」を基本に
「日本でもっとも住みたくなるまち」、「福祉のまち 日本一」を目指し、全力を尽くしてまいります。



市民が主役
対話の市政

松本 崇
大村市長

▼施政方針説明(要旨) 3月議会 2月22日

長期化したデフレ不況や円高の影響により、未だ地域経済は低迷しており、本市財政についても、大幅な税収の増加は望めない状況であります。

このため、引き続き行財政改革に積極的に取り組み、「歳入に見合った歳出」を基本に、安定した財政運営に努め、特色あるまちづくりを行ってまいります。

市制施行70周年を迎えた昨年は、多くの市民の参加のもと、4月の記念式典をはじめとして、さまざまな記念事業を行いました。これらの事業は一過

性のものとせず、それぞれの成果を踏まえながら、今後も実施してまいります。

また、平成26年秋に開催する「長崎がんばらんば国体」および「長崎がんばらんば大会」については、今後、大村市丸となり、着実に準備を進めてまいります。



重点的に取り組む施策

1 行政改革の推進と 財政の健全化

- 第五次行政改革を着実に実行
- 歳入の確保と財政基盤の強化
- 「選択と集中」による予算配分の重点化



2 未来を担う 人材の育成

- 「おおむら市民大学」の開設
- 農業、農村の活性化のため、女性や若者の農業研修などの活動支援
- 市内小・中学校へ学
校司書を配置
- 海外の姉妹都市へ
の学生ホームステイ
派遣



3 子育て支援の充実

- 中央保育所と放虎原幼稚園を体化した、幼保連携型認定こども園を平成26年4月開園に向け整備
- 病児保育サービス施設を新たに2か所増設
- (仮称)大村市民交流プラザ内に、地域子育て支援センターの拠点となる「こども未来館」の整備
推進
- 第2子目の保育料無料化や不妊症支援対策の継続実施

4 中心市街地の 活性化

- (仮称)本町アパート・大村市民交流プラザの整備(平成26年11月オープンを目指します)
- 商店街や地域と一体となり中心市街地の魅力づくりと賑わいのあるまちづくりを推進





重点的に取り組む施策

5 安全安心なまちづくり

- 「同報系防災行政無線」の実施設計（平成26年度中の完成を予定）
- 通学路や生活道路の危険箇所を計画的に整備
- 「ゾーン30」を実施する三城地区を中心に車道幅員の変更や路側帯の拡幅などを実施
- 市道坂口皆同線のJRR大村線立体交差部の冠水対策の推進
- 市道橋梁の老朽化対策工事の実施

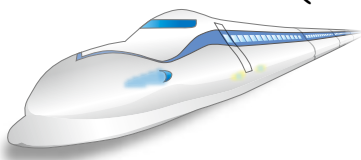
6 産業の振興と雇用の確保

- 農業後継者の育成や農産物の販路拡大
- 農家民泊を活用したグリーンツーリズムの推進
- 観光客やコンベンション誘致のための支援強化
- 新工業団地の候補地選定



7 新幹線を活かしたまちづくり

- 「（仮称）新大村駅周辺地域まちづくり計画」の策定
- 開業のメリットを最大限に活かす地域振興への取組



8 モーターボート競走事業

- 新ホートレース場の建設着工
- ホートピアの設置や経営改善による収益確保





主な新規事業

市民大学とまちづくり 人材バンク運営事業

まちづくりに関する多様な知識の習得により、今後の地域活動の主体となる人材を育成。その課程を修了した市民などを登録する「まちづくり人材バンク」の開設

皆同町の市道冠水 対策事業

市道坂口皆同線のJ R大村線立体交差部について、排水能力を高めるポンプ設備の増強に係る実施設計を実施

耕作放棄地解消の ための基盤整備事業

農地の再生と有効活用のため、営農再開に必要な農地の基盤整備

郡川水系小水力発電 の調査事業

郡川から取水する用水路を利用した小水力発電の可能性調査

都市計画用途地域の 見直し事業

第2次大村市都市計画マスタープランに沿った計画的な土地利用を進めるため都市計画用途地域を見直し

一般廃棄物最終処分場 の整備事業

最終処分場の残容量が少なくなっているため新たな最終処分場を整備

夜間初期診療事業

内科・小児科の診療を行う「大村市夜間初期診療センター」を5月に開設

消防防災設備整備事業

本市で開発製造された、世界で初めての軽自動車に消火能力の高い泡を放射する設備を積載した消防ポンプ車を配備

特集

平成25年度 施政方針 Policy Statement

